

回復期リハビリテーション病棟実績 (6階南病棟)

I. 退棟患者数 (算出期間：令和8年1月～令和8年3月)

① 当該病棟から退棟した患者数

60 名

② 当該病棟から退棟した患者数のうち回復期リハビリテーションを要する状態の患者数

60 名

③ ②の区分別内訳

1. 脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後 若しくは手術後の状態 又は 義肢装着訓練を要する状態。

21 名

2. 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節 若しくは膝関節の骨折 又は2肢以上の多発骨折の発症後 又は手術後の状態。

3 名

3. 外科手術 又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後 又は発症後の状態。

24 名

4. 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋 又は靱帯損傷後の状態。

0 名

5. 股関節 又は膝関節の置換術後の状態。

12 名

II. 実績指数 (算出期間：令和7年12月～令和8年3月)

① 実績指数

56.16 点

$$\text{実績指数} = \frac{\sum (\text{退棟時のFIM運動項目の得点} - \text{入棟時のFIM運動項目得点})}{\sum (\text{各患者の入棟から退棟までの日数} \div \text{患者の入棟時の状態に応じた算定上限日数})}$$